

平成29年度
真岡市社会福祉協議会事業報告書

(1) 高齢者福祉の推進

①老人給食サービス事業

一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、安否確認や社会的孤立感の解消並びに自立生活の援助を図ることを目的として、ボランティアとの交流を通じた食事の提供を行いました。

給食の調理及び配送は、ボランティアの協力を得て行いました。

対 象 者	70歳以上の一人暮らし高齢者で自家調理が困難な者でかつ低所得の者
	75歳以上高齢者のみの世帯で、心身の障害・疾病等により自家調理が困難な者
	その他社会福祉協議会長が特別に必要と認める者

②生きがいデイサービス事業（受託事業）

2名の指導員を配置し、家に閉じこもりがちな一人暮らし高齢者等に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長並びに要介護状態になることの予防を図るため、教養講座、趣味活動等の支援を行いました。

施設概要	摘 要
施設の名称及び 開設曜日	ほっと一息サロン久下田（月・水・金） ほっと一息サロン物部（火） ほっと一息サロン長沼（木）
サービス提供時間	午前10時～午後3時
サービス提供内容	教養講座、趣味活動、日常動作訓練等

③高齢者福祉等を担う団体等への支援及び助成

すべての高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう、老人クラブ連合会等への支援を図りました。

団体名等	支援内容
老人クラブ連合会	運営費及び事業費補助として488,000円を助成するとともに、老人クラブ会員相互の親睦や連絡調整を図るための支援を行いました。
わたの花趣味クラブ 連絡協議会	趣味クラブ相互の連絡協調と情報交換を図り、高齢者各自の健康と生きがいづくりを推進しました。そのため、「わたの花趣味クラブ発表会」の支援及び施設の無料貸出を行いました。
介護老人福祉施設	9か所(椿寿園・きたはら・やまさわの里・喜望荘・桜の華・三起の森・かめやまの郷・田井の里・いきいき萌丘東ノ郷)の活動補助として各100,000円を助成しました。

(2) 障がい児者福祉の推進

①真岡市こども発達支援センターひまわり園運営事業（受託事業）

6名の指導員を配置し、次の事業を実施しました。

放課後等デイサービス事業

高校生までの就学している障がい児を対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中においての療育の場と、放課後等の居場所の提供を行いました。

児童発達支援事業

障がいを持っていると思われる未就学児を対象に、日常生活における基本的動作の指導、知識や技能の習得、集団生活への適応訓練を行いました。

②就労継続支援真岡さくら作業所運営事業

4名の指導員を配置し、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動等の機会の提供を通じて知識及び能力の向上ために必要な訓練等のサービスを行いました。

③地域活動支援センター運営事業（受託事業）

3名の指導員を配置し、障がい者に対し、通所による創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進させることによって、地域における障がい者等の自立の促進と社会参加を支援しました。

④ さくら作業所・地域活動支援センター合同収穫祭

障がい者の社会参加とその理解を促進するため、障がい者と地域住民参加による収穫祭を開催し交流を図りました。

⑤ 障がい児者福祉を担う団体等への支援及び助成

団体名等	支援内容
身体障害者福祉会	運営費として 191,000 円を助成しました。また、身体障がい者相互の親睦を図るとともに関係団体との連絡調整を行い、同じ生活課題を抱える当事者等への活動支援を行いました。
知的障がい者育成会	運営費として 64,000 円を助成しました。また、社会啓発事業や相談事業、知的障がい児者をもつ親の親睦や会員の研修等への支援を行いました。
肢体不自由児者父母の会	運営費として 50,000 円を助成しました。また、肢体不自由児者に対する必要な知識、技術の向上と会員相互の連絡調整を図り、肢体不自由児者の健全な育成とその福祉増進を図るための支援を行いました。
聴覚障害者協会	運営費として 30,000 円を助成しました。また、聴覚障がい者の福祉増進やその親睦を図るための支援を行いました。
こども発達支援センターひまわり園保護者会	運営費として 50,000 円を助成しました。また、心身障がい児の父母の連絡調整や、心身障がい児の福祉の増進と教育の振興を図るための支援を行いました。
障害者支援施設（入所施設）	真岡ハートヒルズの事業補助として 100,000 円を助成しました。

(3) 児童福祉の推進

①子どもの遊び場整備助成事業及びベンチ設置事業

事業項目	摘 要
子どもの遊び場等へのベンチの配置	ベンチ18台の整備を行いました。

②児童福祉を担う団体への助成

団体名等	助成内容
民間保育所	市内11か所の民間保育園（西真岡・西真岡第二・真岡めばえ・萌丘東・真岡あおぞら・にのみや・いちごの杜・せんだん・にのみや認定こども園・ひかり・萌丘幼稚園認定こども園）に施設整備補助として各60,000円を助成しました。
児童養護施設	あかつき寮の事業補助として100,000円を助成しました。
保育ママ連絡協議会	運営費として72,000円を助成しました。
教育福祉懇話会	教育福祉懇話会の開催に120,000円を助成し、児童の健全育成に努めました。

③要保護・準要保護児童生徒修学旅行費の助成

要保護家庭・準要保護家庭の小学生、中学生を対象に修学旅行費として403,417円を助成しました。

(4) 母子寡婦福祉の推進

母子寡婦福祉を担う団体への支援及び助成

運営費として56,000円を助成しました。また、母子寡婦相互の親睦を図るとともに、母子寡婦家庭の総合的福祉増進と向上発展を図るための支援を行いました。

(5) 自立した生活への支援

①日常生活自立支援事業（受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対する地域生活の支援が重要性を増す中で、こうした方々に対する相談支援体制を整備し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理及び通帳・印鑑等の保全サービスを行いました。

②法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度の普及推進を図るとともに、法人として成年後見人を新規1件受任しました。

③生活困窮者自立相談支援事業（受託事業）

収入が不安定で家賃や税金を滞納しているなど、生活に困りごとや不安を抱えている方を対象に、支援員が相談を受け、どのような支援が必要か一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

（新規相談件数113件）

④社会福祉金庫貸付事業

緊急かつ一時的に生計維持が困難となった世帯の課題解決に向けた相談を行い、7件120,000円の貸付を行いました。

⑤生活福祉資金貸付事業（受託事業）

低所得・障がい者・高齢者世帯に対し、経済的自立及び安定した生活を送れることを目的に、必要な相談支援を行い、2件5,670,000円の貸付を行いました。

⑥愛の基金交付事業

栃木県社会福祉協議会と連携し、法外援助を必要とする方への資金の交付を行えるよう整備しました。

⑦緊急食料等給付事業

低所得者等が、緊急かつ一時的に食料等の生活に必要なものが確保できなくなり、生命が脅かされるおそれがある場合、生活再建に向けた支援のため、食料等の現物給付を行うもので、8件46,498円の給付を行いました。

(6) 地域福祉の推進

①地域福祉の推進を担う団体への支援及び助成

団体名	支援内容
地区社会福祉協議会	地区社会福祉協議会の活動費として3,525,600円を助成しました。地区社会福祉協議会は、5地区それぞれの地域の社会福祉事業関係者が協力して、地域住民の福祉増進を図る活動を行いました。
地区民生委員児童委員協議会	市内6地区民生委員児童委員協議会の活動費として302,000円を助成しました。

②ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者や障がい者をはじめ、地域住民が助け合い、安心して暮らせるよう、地域住民が主体となっていくふれあいの場づくりを支援するため、44か所に各30,000円、1か所に15,000円、合計1,335,000円を助成しました。

③地域福祉推進員事業

地域住民と当社会福祉協議会等をつなぎ、住民主体による福祉の推進を図ることを目的として、地域福祉推進員を64区に92名設置しました。

④生活支援体制整備事業（受託事業）

平成28年度に引き続き、山前地区をモデル地区として、高齢者等に対する日常生活上の支援体制の充実及び強化を図るための協議体を設置し、地区内の課題の発掘と解決に向けた取組を企画しました。

具体的取組として、見守り活動の推進、山前地区内5か所の介護サービス事業所による自治会等に対する講師派遣や施設見学、認知症理解促進のための「認知症声かけ訓練」等の実施を支援しました。

⑤ボランティア養成事業

地域における多様なニーズに対応するため、手話・点字・音訳・傾聴ボランティアの養成講習会を開催しました。

講習会名	摘要
手話奉仕員養成講習会	全40回実施しました。
点字講習会	全23回実施しました。
音訳ボランティア養成講習会	全15回実施しました。
傾聴ボランティア養成講習会	全5回実施しました。

⑥ボランティア登録及び派遣事業

ボランティア活動を行う者とボランティアを必要とする者の連絡調整及び情報提供をすることにより、ボランティア活動の普及を図りました。

⑦ボランティアの育成を担う団体等への支援及び助成

団体名等	支援内容
小学校、中学校、高等学校	市内小・中・高における福祉のこころ育成を目的としたボランティア活動を推進するため、26校に各40,000円、合計1,040,000円を助成しました。
ボランティア連絡協議会	運営費として310,000円を助成しました。 また、市民の社会福祉に対する理解と関心を高めることを目的とした「ふれあいフェスティバル」の開催に800,000円を助成しました。
真岡点訳サークル	真岡点訳サークルへ50,000円を助成しました。
手話サークルまごころ	手話サークルまごころへ50,000円を助成しました。
朗読ボランティア「ひばりの会」	朗読ボランティア「ひばりの会」へ50,000円を助成しました。
傾聴ボランティアさくら貝	傾聴ボランティアさくら貝へ30,000円を助成しました。
地域奉仕団	地域奉仕団へ124,000円を助成しました。

⑧災害ボランティア支援委員会運営事業

大規模災害発生時の支援活動を効果的に行うため、関係機関による委員会を設置し、その運営を行いました。その取組の一環として、市内の高等学校、コラボレもおか、障害児者相談支援センターでワーキングチームを設置し、「避難体験・避難所運営体験プログラム」の企画・運営を行いました。

⑨共同募金事業

赤い羽根共同募金

地域福祉と広域福祉の推進のため、10月に実施しました。

目標額 (円)	実績額 (円)	達成率
10,316,250	9,626,615	93.3%

歳末たすけあい募金

低所得者、独居高齢者、母子父子家庭などの経済的援助のため、12月に実施しました。

募金額 (円)	対象者	金額 (円)
6,370,457	準要保護・低所得者世帯	2,026,000
	心身障がい児 (者)	189,000
	独居・ねたきり・認知症高齢者	1,302,000
	母子・父子家庭	1,757,000
	福祉団体・学校他	1,096,457
	計	6,370,457

災害義援金

地震、台風、大雨災害に対し義援金を募集しました。

募金額 (円)	災害の内容	宛先	金額 (円)
177,674	熊本地震	熊本県	20,060
	台風21号	和歌山県	851
	台風18号	大分県	10,122
	大雨	福岡県	141,430
	大雨	秋田県	5,211

⑩善意銀行運営事業

善意による金品等を預かり、低所得者や福祉施設等に払い出しました。

預託金

預 託		払 出	
件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
18	851,678	48	469,000

預託品

預 託	払 出
34件	33件

(預託1件については、次年度繰り越し。)

⑪ボランティアセンター情報共有事業

幅広い分野で行われているボランティア・市民活動を活性化するため、「市民活動推進センターコラボレもおか」との連携を図りました。

(7) 福祉教育の推進

①福祉教育への支援及び協力

学童、生徒の「生きる力」を育む環境づくりのため、福祉学習の充実に取り組みました。また、福祉機器等の貸出を行いました。

分類	メニュー	内 容	件数
全 般	福祉講話	福祉学習導入としての全体的な講話	3
高 齢 者	インスタントシニア	高齢者の疑似体験	6
身 障 が い 体 体	車いす体験	車いすの説明、乗る体験、補助する方法等の学習	6
	車いす利用者の講話	車いす利用者による講話	4
視 覚 障 が い	点字	レベルに応じた点字講習や点訳ボランティアの講話	9
	アイマスク体験	視覚障がい者の体験とともに、それを補助するガイドヘルパーについて学習	8
	視覚障がい者の講話	視覚障がい者による講話	10
知 的 障 が い	知的障がい者との交流	手ぬぐいの模様づけ作業、ゲーム	3

②おじいちゃん保父事業

核家族化が進む中で、おじいちゃんに触れ合う機会が少なくなっている子どもたちに、おじいちゃんのぬくもりを感じてもらうことを目的とするとともに、真岡市が推進している「三つ子の魂育成事業」の一環とし、保育所（園）6か所へおじいちゃん保父7名を派遣しました。

(月2回の派遣)

派遣保育所	真岡保育所・西田井保育所・中村保育所・物部保育所・牧が丘幼稚園・にのみや保育園
-------	---

③小学生を対象とした「ふれあい体験講座」

障がい者への理解と認識を深め、日常生活において、地域の一員として自分に何ができるかを考える機会を提供することを目的として実施しました。

実施月	11月
対象	市内の小学4～6年生児童とその保護者。
内容	真岡さくら作業所・地域活動支援センター利用者との染色作業等

④中学生及び高校生を対象とした「ボランティアスクール」

人と人が助け合うことの大切さを知ると同時に、地域福祉ボランティア活動への関心を高め、命の尊さなどの理解を深めることを目的として、8月に2日間実施しました。

	1日目	2日目
内容	特別養護老人ホーム椿寿園で、施設見学や講話、利用者とのゲーム等をおし、認知症や高齢者の理解等の促進を図りました。	竹林整備で出た竹を利用して、おしぼり台を手作りし特別養護老人ホームにプレゼントしました。

(8) 各種相談の充実

①相談支援事業所ひまわり運営事業

障がい者、障がい児及びその保護者が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むため、適切な福祉サービス等が受けられるよう、障害福祉サービス事業者等の情報提供、サービス等利用計画の作成及び評価等を行いました。

②心配ごと相談事業（受託事業）

月4回開設し、相談員が来所者や電話による心配ごと、悩みごとについて35件の相談に対し助言しました。

③無料法律相談事業（一部受託事業）

毎月第2火曜日に開設し、弁護士により126件の法律的な相談を行いました。

(9) 広報・啓発活動の充実

① 広報事業

事業名	事業内容
ホームページ事業	事業内容等の情報を発信しました。
広報紙「もおか社協だより」発行事業	年3回発行しました。
市の広報紙「広報もおか」及び「ウィークリーニュースもおか」の活用	わたのみ基金寄付者、善意銀行預託者等を掲載しました。

② 啓発事業

事業名	事業内容
社会福祉大会	市民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため「真岡市社会福祉大会」を開催し、41名・2団体に対し、社会福祉協議会会長表彰及び感謝状の贈呈を行い、12名に対し、共同募金会真岡市支会長表彰を行いました。

(10) 運営基盤の強化

① 社会福祉協議会会員の拡大

充実した事業推進に必要となる自主財源の確保のため、社会福祉協議会会員の拡大を図りました。

種別	会員数 (件)	金額 (円)
特別会員A (5,000円)	237	1,185,000
特別会員B (3,000円)	880	2,640,000
賛助会員 (1,000円)	67	67,000
普通会員 (300円)	18,420	5,526,000
合計	19,604	9,418,000

② わたのみ基金運営事業

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、安定的な財源を確保する目的の地域福祉振興基金に一般篤志者の方々から38件2,413,349円の善意が寄せられました。

また、独自事業として市民ゴルフ大会を11月に開催し、基金造成に努めました。

(1 1) その他の福祉対策

①福祉車両及び車いす等貸出事業

福祉車両及び車いす等の短期貸出を行いました。

②災害による罹災者への見舞金の給付

火災見舞金として 200,000 円（県共同募金会 70,000 円・真岡市支会 130,000 円）を贈りました。

③その他団体への支援及び助成

真岡市遺族会連合会に対し運営費として 62,000 円を助成するとともに、英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉増進及び遺族相互の親睦を図るための支援を行いました。

理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催状況

(1) 理事会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
29. 6. 2	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会補正予算について ・ 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業報告について ・ 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会決算について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任評議員会の招集について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
29. 6. 21	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>
30. 3. 6	総合福祉保健センター	<p>提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業計画について ・ 平成30年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会予算について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員会の招集について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会地域活動支援センター事業運営規程の一部改正について 	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>

(2) 評議員会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
29. 6. 21	総合福祉保健センター	提出議案 ・ 平成29年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会補正予算について ・ 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業報告について ・ 平成28年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会決算について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償規程の制定について ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会理事の選任について	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
30. 3. 16	総合福祉保健センター	提出議案 ・ 平成30年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会事業計画について ・ 平成30年度社会福祉法人真岡市社会福祉協議会予算について	原案可決 原案可決

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	場 所	議 事 内 容	結 果
29. 6. 9	総合福祉保健センター	提出議案 ・ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会評議員の選任について	原案可決